　　　　論文

和文表題

ゴシック（半角英数はCenturyGothic）、18 pt、センタリング。2行以上になる場合は行間を空けない。

副題

ゴシック（半角英数はCenturyGothic）、16 pt、センタリング、ダッシュで挟む

12mm　　間隔4mm

記事種目

(論文、報告など、ゴシック、14 pt）

原稿は、１行24字(/段)×40行、２段組み（A4版）、

片面打ちの完成原稿。

余白は、上下2左右2cm、

1 pt 又は0.5mm の横線

『専門日本語教育研究』原稿執筆要領

―投稿前にお読みください―

鈴木 花子1、佐藤 太郎2

要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。要旨の見本です。

著者名

ゴシック（半角英数はCenturyGothic）、12 pt、センタリング。連名の場合は「、」で並べ、著者番号を右肩に。

キーワード　6個以内、明朝（半角英数はCentury）、9 pt、センタリング

要旨

600字以内、明朝、9 pt、1行45文字程度、センタリング、1段で書く（改行しない）。

キーワード：専門日本語教育、ホームステイ、投稿規定、テンプレート、見本

章の見出しに番号（１. など）をつける（ゴシック（半角英数はCenturyGothic）、12 pt、左寄せ）

１．はじめに

１．１　小見出し

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

本文　明朝（半角英数はCentury）

10pt

「、」「。」を句読点に使用。

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

1○○大学▲▲学部教授

2○○大学大学院▲▲研究科博士後期課程

最初のページ左段下に著者の所属と職位を記入。明朝（半角英数はCentury）、9pt

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

章の小見出しの前後は行を空けない。ゴシック（半角英数はCenturyGothic）、10pt、左寄せ。

１．２　小見出し

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

章の小見出しの前後は行を空けない。ゴシック、10pt、左寄せ

文の後は１行空けて、章題を書く。

２．調査対象

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

キャプション下、又は、図上に文章が来る場合１行空ける。

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

これは見本です。これは見本です。（表１）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 表1　表見本 | | |
|  | 教材1 | 教材2 |
| 面白くて何度でも読み返したい。 | 3.96 | 2.62 |
| デザインが素晴らしい。 | 4.36 | 3.23 |
| それほど役に立たない。 | 3.39 | 4.14 |
| 重い。 | 3.42 | 3.84 |
| 価格が高すぎる。 | 3.65 | 4.05 |
| 索引がどこに配置されているのか分かりにくい。 | 4.38 | 2.63 |
| 誤字脱字が多すぎる。 | 4.13 | 3.13 |

表の挿入：

通し番号と見出しをつけ（明朝（半角英数はCentury）、10 pt）、表の上の位置に記す。表は紙面の四隅に配置し、文章を分断しないようにする。横幅は１段幅、又は、２段全幅の２種類とする。

キャプション上、又は、表下に文章が来る場合１行空ける。

|  |
| --- |
| ナントカ  カントカ  云々  図１　図見本 |

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

図(写真含）の挿入：  
通し番号と説明キャプション（明朝、10 pt）を、図の下の位置にセンタリングして記す。

図は紙面の四隅に配置し、文章を分断しないように。

横幅は１段幅か２段全幅の２種類。

印刷時の干渉縞を避けるために、網掛け、グレーは用いず、区別が必要な場合は線種やハッチングなどを用いる。

著者の提出した原稿をそのまま印刷するため、図・写真の質に注意する。写真はデジタルカメラで撮ったもの、またはスキャナーで取り込んだ画像を原稿に組み入れて提出する。それ以外の写真を使用したい場合は編集委員会に相談

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは見本です。

「注」が必要な場合、本文中の関連箇所の右肩（フォント「上付き」を指定する）に「注1、注2、…」と記し、 論文末で解説する。脚注にはしない。

３．結果と考察

これは見本注１です。これは見本です。これは見本です。これ注２は見本です。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは見本です。

参考文献・引用文献は、本文中の関連箇所の右肩（フォント「上付き」を指定する）に番号を記し、末尾を参照させる。

一つの関連箇所に複数の参考文献番号がある場合は、たとえば「3-6)」とする。２つの場合は「3,4)」のように書く

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは見本です。これは見本です。これは見本です。1)

これは見本1, 2)です。これは見本です。これは見本1-3)です。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは見本です。これは見本です。こ

参考文献の見出し。ゴシック、10pt

注。明朝（半角英数はCentury）、9pt

注の見出し。ゴシック、10pt

注

注１　大部分の会員が知らないような専門用語は解説する。

注２　注の記述はできるだけ簡潔にする。

英文表題

Century Gothic 18 pt、センタリング

参考文献

参考文献の記述。明朝（半角英数はCentury）、9 pt（英文献も同様）

文献は以下の順に解説：

雑誌の場合：著者、表題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年

単行本の場合：著者、書名、発行所、発行年

1) 大阪太郎: 科学技術日本語の読解過程, 情報処理, Vol.1, No.1, pp.6-10（1960）

2) 学際高男・谷岡花子: 会誌に投稿される方へ, 専門日本語教育研究, 第6号, p.85-86 (2004)

3) Feldman, J. and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113(1968)

英文副題

Century Gothic 18 pt、コロンを入れ、続けて書く。

Subscription Information to Contributors: A Case of JTJE

英文要旨

Century 10 pt、1段、200語以内、1段落で書く。文頭は文字下げをしない。

SUZUKI, Hanako1 SATO, Taro2

1International Student Center, Tozai University

2Graduate School of Law and Politics, Namboku University

Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English Abstract in English.

**keywords**:technical Japanese education, home-stay, submission guidelines, template, sample

英文著者名（Century Gothic 12 pt、センタリング）。姓は全大文字、名は頭文字のみ大文字。

姓の後に「,」、名の順で書く。共著の場合、半角2スペース分を空け、共著者名を記載。

執筆者の右肩に数字（1，2，･･･、4分の1角上付き）を付す。執筆者英文所属（Century 10 pt、センタリング）。先頭に数字（4分の1角上付き）を付ける。

英文キーワード（Century 10 pt）

“**keywords:**” (Century Gothic)の後に半角スペースを入れ、最初のキーワードを書く。原則、小文字で書く。日本語のキーワードと対になるように書く。語頭は原則として小文字だが、固有名詞などは大文字にする。